

会費の完納

昭和三十四年度
国内奨学金授与式挙行

募金の推進

晚秋の日ざしも暖かい昨十一月十四日、日本女子大学桜楓館に於て、三十四年度国内奨学金授与式が行われました。例年の如く、研究学生徒及大学生に対し、吉田会長より次のように授賞せられました。当日は早朝よりバザーを、式後、古沢淑子氏のフランス歌曲独唱、及ラップルを併せて行い、新聞社、テレビ局なども来会を願いまして、共に受賞者の前途をお祝い申上げました。なお前後数日も渉り、会場を提供して頂いた日本女子大学当局の御好意に対し、ちゅう心より厚く御礼申上げます。

経過報告

国内奨学委員長

加藤ハツコ

当協会の最も重い行事の奨学金授与式を、皆様の力強い御協力により、盛大に行なった事を心

より厚く御礼を申上げます

第九回目に当り、受賞者数は、総計二五七名、研究生をい

て五七名、奨学金合計は二二三万三千円になりました。

次に本年の受賞者は、学名、研究生四名中三名

でございました。

今回の授与式は、学生は、グループ研究は一に対し

選考は特別選考委員とし

て、青山なを東京女子大教

授（国文学）小川文代、共

立女子大教授（理博）久米

次に今年の受賞者は、学

生は応募者二十一名中十六

名、研究学生四名中三名

でございました。

今回授与式は、学生は

二二三万三千円になりました。

次に今年の受賞者は、学

生は応募者二十一名中十六

名、研究学生四名中三名

でございました。

次に今年の受賞者は、学

生は応募者二十一名

本年の第三回通常総会は来る
四月三日聖心女子大学に於て
開催の予定

子年にちなんんで
財務・企画委員長 上野シゲ

昨年の活動を省みて、一
応の成績はあげ得たよう
思う。これは偏に協力の
工夫もしよう。事務改善も
費用は滞りなく納まるよう
に増してすべてのこと、ネ
ズミ算式でありたいもので
ある。新会員の数はググ
クとふえていくように、会
頭の中にはアイデアがウ
ニを巻いて発生し、その実施
を全員大わらわの活動を展
開したいものである。募金目標
のカーブはグ
ンと上升させねばなら
い。その心構えは本年第
一回の委員会でみなさんの心
の中に改めてできたよう
である。

わが会の活動に対して兎
や角のウワサがあつたとし
てもソレは馬の耳に風とき
き流して、私どもは昨年の
仕事を自分たちの信するま
まにやつてきた。大学婦人
協会らしい仕事をモットは
げんと上昇させねばなら
い。その心構えは本年第
一回の委員会でみなさんの心
の中に改めてできたよう
である。

この種類の会は会費收入で賄うのがタテマエ
である。ところがそれが会
務上の不備と、会員の方々
の「ついうつかりしてい
た」という無頓着からくる
ものと思う。

われわれは大学教育の恩
恵に浴した婦人たちであ
る。みんなはその機会に遭
遇したよろこびを何かにつ
けて痛感しているにちがい
ないかと思う。

次期役付理事並に監事候補者を

一、副会長 石森千代
一、書記 未定
一、監事 小川高子
右の通り推せん致します

三十四年度国内
奨学生研究報告

短詩形文学に於ける
女流歌人及び俳人の研究

飯塚坂村 悅喜 子子子

いて研究が行われはじめ
いる。「三河小町」(元祿
十五年刊白雪編)玉藻集

(安永三年刊・萬村編)の
二つの女流句集が遺されて
いるのを思えば彼女らの当
時の活躍ぶりは注目される

ものが多いため、併し俳諧史
の中で主役となることな
く終っている。ここに近世
の時代女性の置かれた状況
で創られつつましさの中に
意味、意義鑑賞の細かい面
を明らかにした。九条武
子も歌人として薄倣な運命
が明らかにされても短歌の
整理がついていない。それ
を細かに整理分析し併せて
人々の考えはみな一様であ
る。

うかと思う。

この会の創始者たちや
次々とバトンを受けついだ
多くの者は常々考えてい
る。この会の創始者たちや
次々とバトンを受けついだ
人々の考えはみな一様であ
る。

うかと思う。

この会の創始者たちや
次々とバトンを受けついだ
人々の考えはみな一様であ
る。

うかと思う。

うかと思う。</p

委員会事業報告

児童福祉委員長

松本武子

係のために里親委託が順調に行かない場合も多い。アメリカの児童福祉は、

一九〇九年の児童福祉会議

会計からのお願ひ

留学生会館の仕事をして

野上三枝子

募金について

山崎文子

希

望

に溢れる一九六〇年

を

迎えます。

お慶びを申し上げます。

お慶

び

申

し

上

げ

る

事

だ

す。

と

も

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

学年別比率	男女別比率
一学年	四七三%
二学年	四五三%
三学年	三四%
男子	三四%
女子	二七%

戸市高校生の 読書に関する調査

神戸文部研究部

此の調査は、神戸市高校生の読書状態を調査したものであるが、調査にあたつた人數も極めて少く又調査統計に不駒でのものでもあります。望むところのみ大きくて、結果はささやかなものに終つた。今紙面の都合もあるのでその極く概略を掲載させていただく。おこがましい限りではあるが、人生に於て読書が一番直接に精神の糧となると言われる高校時代の生徒に何が誰の作品がどのように読まされているか、という事をうかがう

3学年別比率		(2)一日平均一時間前後の学校で勉強しているところことがしのばれる。もの	
男子	女子	男子	女子
四七%	五三%	三八%	四九%
二学年	三四%	一年	三年
三学年	三四%	二年	二年
男子	七三%	五年	四年
女子	二七%	四年	五年
社会も家庭も屋間働いていられる女子が、夜間勉学する態勢にまだ程遠いことを思ふ	であった。此の比率は、調査した学校のみならず、大体現在の夜間高校生の比とみてよいのではないか。うか。	は全部共学であつたが、庄倒的に男子が多く、夜間高校生のみの比率は、女子二七%、男子七三%である。	なお、調査した夜間高校は、全部共学であつたが、庄倒的に男子が多く、夜間高校生のみの比率は、女子二七%、男子七三%である。
(1)	総数による男女比率	(1)	総数による男女比率
男子	三八%	男子	三八%
女子	四九%	女子	四九%
(1)	全日制生徒の場合	(1)	全日制生徒の場合
男子	四年	男子	三年
女子	五年	女子	四年
(1)	一日平均一時間前後の学校で勉強しているところことがしのばれる。もの	(1)	一日平均一時間前後の学校で勉強しているところことがしのばれる。もの
男子	三八%	男子	三八%
女子	四九%	女子	四九%

三、どの作家がどの位読まれて
いるか

(2) 定時制生徒の場合		(1) 全日制生徒の場合		(3) 一日平均二時間以 前後の読書をするに過 ない。	
女子	男子	女子	男子	女子	男子
平均	一年	一八%	一年	一一七%	一〇%
三年	二年	一一六%	二年	一一六%	一二%
五年	三年	一一七%	三年	一四%	一年
八年	五年	一一六%	四年	一六%	一年
十年	七年	一一五%	五年	一七%	一年
十二年	九年	一一四%	六年	一八%	一年
十五年	十二年	一一三%	七年	一九%	一年
二十年	十五年	一一二%	八年	二〇%	一年

女子	二年	三年	三年	三年	二年	一年	一年	平均	二年	三年	三年	二年
昼間の生徒の場合は学 が進むに従い、読書時間 少いものが減少し、従つ 一時間前後のものが殖 くる。右のように女子に ては半数以上のものが一 間前後の読書をしている 但し夜間生徒の場合は、 述の如くむしろ女子の方 読書時間の少いことが表	三二%	三二%	三二%	三二%	三六%	三六%	三六%	三六%	三九%	三九%	三九%	三一%

二、読書時間について

この調査はこの度は文芸のでは、その差が殆んど見作品に限り、日本のものは明治以後の小説家中、代表的作家と目されるもの三十七人、外国のものは、近世以後の、各国代表的作家と目されるもの三十二人を挙げ、読んだことのある作家に○印を入れて貰つた。而しこれを、全日制、定期制、男女、各学年に分け、調査したのであるが、今はその一部を載せるに止めるので、結論をさきに述べると

(1) 学年により、又男女により読むものがどのように異っているかを調査し、その思想の動向を窺いたいと思つたのであるが、この程度に一般的な作家をあげた

表によつてわかつていただけると思うが、夏目漱石の第一位は勧かぬところ、次いで山本有三、芥川龍之介等が読まれ、島崎藤村、武者小路実篤、川端康成等もよく読まれている。樋口一葉、幸田露伴、森鷗外等

(3) 男女共に所謂読書家に属するものは高校生全体の一〇パーセント位である。	
なお、前年度神戸市在住の一般婦人から、九二三通のアンケートを得て、読書調査をした際の読書時間の調査を御参考までに次に掲げる	
三十分以内	四三%
一時間以上	三四%
二時間以上	一二%
右のように家事や育児に忙しい一般婦人が、新聞雑誌を含めたとしても、男子高校生に近い読書時間を持つづけていることを知り得て非常に頼もしく思ったのであつた。	

	男子	女子	平均	三年	二年	一年
(2)	右のよう	於ては、女子の方に読書を	一日生徒に	一一一	一五%	三%
(1)	好むものが多く、殊に一年	に於てその差が甚しく表れ	二年生徒に	一一〇	八%	%
	ている。二年に於て接近し	ていて、又差がついて	三年生徒に	九	九	九
	くる。勿論男子の方に受験	る。勿論男子の方に受験				
	勉強の激しいという理由も	あるが、これは結論をいうと				
	書し、殊に下級に於ては、	くり返して結論をいうと				
	男子との差が甚だしい。	大体女子の方がよく読				
	夜間の生徒は屋間の生	書し、殊に下級に於ては、				

5

男女各々総数による順位とその百分率				(附昨年度の調査一般婦人に依る順位)				
〔外國作家〕		〔日本作家〕						
女子高校生	男子高校生	女子高校生	男子高校生					
作家名	順位	百分率	作家名	順位	百分率	作家名	順位	
シエークスピア	1	72%	シエークスピア	1	49%	夏目漱石	1	90%
オルコット	2	67%	マーク・トゥエン	2	49%	山本有三	2	84%
マーク・トゥエン	3	50%	トルストイ	3	37%	島崎藤村	3	74%
ゲーテ	4	50%	ロマン・ローラン	4	31%	芥川龍之介	4	74%
ヘルマン・ヘッセ	5	49%	ユーポー	5	31%	壺井栄	5	67%
ユードー	6	48%	ヘミングウェイ	6	30%	樋口一葉	6	67%
トルストイ	7	46%	ドストエフスキイ	7	26%	武者小路実篤	7	67%
ロマン・ローラン	8	41%	ヘルマン・ヘッセ	8	26%	川端康成	8	67%
ドストエフスキイ	9	39%	ゲーテ	9	24%	石坂洋次郎	9	65%
モーパッサン	10	37%	モーパッサン	10	20%	森鷗外	10	63%
アンドレ・ジード	11	36%	ミッチエル	11	17%	下村湖人	11	59%
エミリ・プロンテ	12	36%	オルコット	12	17%	谷崎潤一郎	12	47%
ミッチエル	13	29%	ディッケンズ	13	16%	菊地寛	13	42%
パール・バッック	14	28%	パール・バッック	14	14%	志賀直哉	14	41%
デイツケンズ	15	28%	スタンダール	15	14%	幸田露伴	15	40%
ツルゲーネフ	16	27%	アンドレ・ジード	16	13%	国木田独歩	16	38%
ヘミングウェイ	17	25%	ツルゲーネフ	17	11%	田山花袋	17	34%
スタンダール	18	25%	エミリ・プロンテ	18	8%	林 芙美子	18	34%
マルタン・デュガ	19	16%	ショーロホフ	19	7%	三島由紀夫	19	34%
リルケ	20	8%	マルタン・デュガ	20	7%	幸田 文	20	33%
フローベル	21	7%	マルロオ	21	5%	井上 靖	21	32%
魯迅	22	7%	魯迅	22	5%	尾崎紅葉	22	30%
ゴーリキ	23	5%	サマセット・モーム	23	4%	堀辰雄	23	27%
サマセット・モーム	24	5%	フローベル	24	3%	有島武郎	24	27%
カミニュ	25	4%	ゴーリキ	25	2%	宮本百合子	25	27%
ゴーリキ	26	4%	ゴーリキ	26	2%	吉川英治	26	24%
ショーロホフ	27	4%	トマス・マン	27	2%	五味川純平	27	24%
トマス・ハーデイ	28	3%	カミニュ	28	2%	倉田百三	28	20%
トマス・マン	29	3%	フォーカナー	28	2%	泉鏡花	29	18%
マルロオ	30	2%	トマス・ハーデイ	30	1%	石川達三	30	18%
カフカ	31	2%	リルケ	31	1%	横光利一	31	15%
フォーカナー	32	0	カフカ	32	0	徳富蘆花	32	15%

第三回国連劇脚本募集	
内 容	世界平和・隣人愛などを実現するに役立つもの
原稿の制限	四百字詰原稿用紙五十枚内外
メ 入 選 切	昭和三十五年四月十日
送 付 先	東京都千代田区丸ノ内二ノ十二
佳 作	一篇
最 優 秀 賞	十万円
二 篇	各一萬円
日本国際連合協	

第三回國連劇脚本募集

勧業の 投資信託

—〇五千円

優良株のエッセンス

本章小结

産業能率短期大学

学生募集要項 〔昭和35年度〕

I 募集人員	能率科 1 年 100名 { 事務能率専攻 50名 { 生産能率専攻 50名 }
	2 年 編 入 若干名
	聽 講 生 若干名
II 入学期日	昭和35年 4月11日(月)
III 入学試験	願書受付 2月1日(日)~ 4月3日(日)

★入学案内38円(切手)同封世田谷区玉川
等々力町3~17当大学教務部え

せて一〇四名(自三月五日迄)
年一月二十一日迄)
おかげ様で一〇〇名を空
いたしました。御協力に
し御礼を申上げます。今
共御勧誘のほど御願いた
ます。

主本
突破
に対
後
たし
今
〇 次回は総会準備号として
三月下旬発行の予定です
から、成るべくお早く原
稿を御送り下さい。
メ切二月二十五日
報道委員 若林、村井
真田、若山

編集後記

本会事務所は来る四
月よりお茶の水女子
大学内に移転の予定